

■韓国：最大電力が更新

韓国電力公社 (KEPCO) は2012年2月3日、2日10時から11時にかけて最大電力が7,383万kWとなり、これまでの最高記録を塗り替えたと発表した。同社によると、2日は55年ぶりの寒波（ソウル市では気温がマイナス17.1度）により各地の暖房需要が急増し、一時は予備力が500万kWに低下し、10時30分を過ぎても需要が低下しないため、節電を訴える字幕を流すよう各放送局に要請した。その結果、11時以降になると需要が徐々に低下し、11時30分には予備力が600万kWに回復した。同社の関係者は「節電キャンペーンにより、2日の電力需要が230万kW減少した。また、大口需要家がKEPCOとの契約に基づいて操業時間や業務内容を変更することによって100万kWを節電することができた。昨年まで11時から12時にかけて最大電力が出ていたが、政府の強制節電策（1万4,000カ所の企業や工場に対してピーク時に10%の節電を強制）により、最大電力の発生時間帯が10時から11時変わった」とコメントしている。知識経済部 (MOKE) の関係者は「強制節電を早期に終了したいが、節電効果が得られないと電力不足が発生する可能性がある。電力不足を回避できているのは、積極的な節電対策と管理によるもので、しばらく強制節電を継続する」とコメントしている。